

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	大学院インターンシップ		
英文授業科目名	Advanced Internship		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-知能機械工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	知能機械工学専攻		
担当教官名	専攻主任		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>1)研究開発・生産の実際に関心と興味を深め、創造性や自主性を涵養する。</p> <p>2)将来の研究者や技術者としての心構えと抱負を養う。</p> <p>3)実習体験を通して、科学技術の重要性と大学教育の意義を再確認する。</p> <p>4)自己の適正や将来設計を考える機会とし、卒業後の進路の指針とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
なし

【授業内容とその進め方】

1. 履修要項

- 1) インターンシップは、原則として前期課程1年次の夏期休業中に行う。
- 2) 期間は、4週間、90時間以上とする。ただし、日数は短縮することがある。
- 3) インターンシップを希望する者は、「大学院インターンシップ願」を、主任指導教官および専攻主任の承認を得た上でインターンシップ担当教官に提出する。
- 4) インターンシップ期間中の災害や傷害を保障する保険に加入していること。
- 5) インターンシップ期間中は、実習先の諸規定および監督者等の指示に従う。
- 6) インターンシップ終了後、「インターンシップ報告書」を速やかに提出する。
- 7) インターンシップ中の事故・災害発生時の障害保障は、「学生教育研究災害障害保険」に基づいて行われる。入学時に加入していない学生は保障されない。自分が加入しているかどうか不安な学生は、学生課保険業務担当に確認すること。
- 8) 4月下旬に実施説明会を行う予定。

2. インターンシップの条件

- 1) 実習先の希望が競合したときは、希望する技術分野、日程、通勤、指導教官の意見などを考慮して調整する。
- 2) 交通費と昼食代は実習先から支給される。日当は支給されない。
- 3) 通勤不可能な距離にある実習先の場合は、実習先が宿舎を準備する場合がある。

【成績評価方法および評価基準】

実習先からの「インターンシップ修了書」（実習先責任者による報告）を受けた後、「インターンシップ報告書」を提出し（単位取得のための最低条件）、終了後の面接、実習実施状況などで総合評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

【学生へのメッセージ】

インターンシップは、短期的ではあれ「社会で働く」体験をして、その意味を考えることができる貴重な機会です。主旨を理解した上で、積極的に履修してください。
なお、実習先との連絡・調整に関しては、下記の共同研究センターインターンシップ担当者の指示にも従って下さい。